

環境

新たな廃棄物対策について

Q 次3点について伺う。
1 新たな分別収集の進捗状況と今後の進め方、事業系ごみの分別について

2 生ごみ処理機の助成状況と今後の取り組みについて
3 不要入れ歯のリサイクルについて
1 点目について、本年10月からの開始をめぐりにしている新たな分別収集については、2月に各地域で概要説明会を、4月には、温泉旅館協同組合、寮保養所団体連絡協議会、5月には、自治会連絡協議会、女性会連絡協議会にそれぞれ説明をし、いろいろな意見・助言を頂戴した。
7月には、これらの意見等を踏まえて、容器包装プラスチックなどのサンプルを用いた詳細な住民説明会を実施する。

また、事業系ごみの分別についても、各種団体を通じて、説明及び意見交換を行っていききたい。
2 点目について、現在、町では、3万円を限度として購入金額の2分の1の補助を行っている。
平成3年から始めて、平成20年度までの18年間で、合計134基、約164万円の補助を行ってきたが、今後も広報誌などで積極的にPRしていく。
3 点目について、不要入れ歯のリサイクルは、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会が行っており、県内においても、近隣の真鶴町など8市3町がこの活動に協力している。
先月15日から社会福祉法人箱根町社会福祉協議会が、窓口に回収箱を設置し、「入れ歯募金」として、取り出した貴金属の売却益を福祉に役立てる活動を始めた」と聞いている。
今後、町としても、回収箱の利用状況等を見ながら、町施設への増設について、社会福祉協議会と協議していく。

健康福祉

現行保育制度を守ることに

Q 次2点について伺う。
1 「第1次報告次世代育成支援のための新たな制度体系の設計に向けて」について

2 宮城野保育園の存続について
1 点目について、先月の5月19日には、「第1次報告を踏まえた今後の主な検討課題等」が示され、「新たな保育の詳細設計」として、「保育の必要性等の判断の仕組みの詳細」ほか9項目と、さらに細部の検討課題が明示され、今後においても、協議検討が重ねられ、法制化されるものと承知している。
町内の保育所は、今年4月に開所した湯本幼児学園を含め、3園あるが、いずれも公立保育所であり、新制度に変わっても、入所までの手続きや、契約、保育料の決定などは、これまでどおり各園や町健康福祉課で行うものである。
また、保育時間についても、

保護者の就労時間や必要性和子どもとの成長に合わせ行っている今の保育を活かしていくのが良いと考えるので、新制度になっても、保育内容や行事への参加などは、現在の集団保育を活かす内容で検討していく。
2 点目について、現在、宮城野保育園には、0歳から5歳までの84名が通園している。町内で一番児童数が多い保育所であるので、その存続については、中央地域幼児学園構想と合わせて検討していくが、「学校跡地利用などに係る住民説明会」を開催し、住民の声を聞きながら進めていく。



宮城野保育園

生涯学習

屋内スポーツの振興策について

Q 次2点について伺う。
1 レイクアリーナにおける屋内スポーツの利用状況と利用増を図る取り組みについて

2 ニュースポーツ導入の検討と他自治体の室内スポーツの状況について
1 点目について、레이크アリーナではバスケ、フットサル等のチームスポーツや、卓球、バドミントンが利用されている。また、体力づくりのためにトレーニングマシンを利用される方も多く、インストラクターの指導のもと「エアロビクス」「らくらくビクス」で体を動かされる方も見受けられる。
利用増を図る取り組みとしては、ホームページやチラシ等で周知し、さらには出前講座を通じてスポーツ意欲を高めるための情報提供を行い、地域のサークル団体の協力を得ながら、今後も利用増に努めたい。

2 点目について、屋内スポーツの振興については、ニュースポーツ導入が大きな要素になると考える。
具体的には、小中学校の体育館を利用して「ユニカール」「ファミリィバドミントン」「ドッチビー」などを行っている。昨年は10回開催し、203名の方に参加していただいた。
参加者からは、「次回も参加したい」「大人同士で対戦したい」「毎週ニュースポーツに参加したい」という声もある。そこで、体育指導員とも調整を図りながら、多くの方が参加できるように検討していきたい。
近隣の状況であるが、手軽に楽しめるソフトバレーボールの利用が多く、最近では、パークゴルフへの人気が高まり、開成町や中井町では、週末はプレーができない程の混雑ぶりとなっている。
今後も運動やスポーツに親しむことのできる環境を提供していきたい。